

⑰ まつぼっくりの剣玉

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・身近にある自然の贈り物まつぼっくりを使って、伝統的な遊び道具を作って遊ぼう。

2 実施時期：10月～12月

3 実施場所：屋内

4 対象学年：低学年

5 関連教科：生活科、図工

6 時数：1時限～2時限

7 事前準備

- ・タコ糸の用意（70～80cmの長さに切っておく）

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：タコ糸、紙コップ（200cc）

どんぐりクラブ：まつぼっくり、グルーガン、ポスカ、透明コップ、松の種

(2) 授業の流れ

① あいさつ

② まつぼっくりや剣玉の話

- ・松の種は羽根をつけており、風に乗って遠くに飛んでいき仲間を増やす。
- ・種を上に向けて落とすところを観察
- ・雨に濡れるとどうなるか予想させ、透明コップにまつぼっくりを入れる。
- ・昔はよく剣玉遊びをしたこと

③ 紙コップに名前を書く。

④ まつぼっくりにタコ糸を結び付ける。

⑤ 紙コップの底に鉛筆で穴をあける。

⑥ タコ糸の先を紙コップの底から通す。

⑦ タコ糸の先にゼムクリップをつけて、紙コップの底にセロテープでとめる（またはグルーガンでとめる）。

⑧ 紙コップに絵や模様を描く。

⑨ いろいろな遊び方を工夫する。

⑩ 笠が閉じる実験の結果を確かめる。

⑪ 終わりのあいさつ

9 備考

- ・大変簡単に作ることができ、子どもたちは遊び方を工夫して楽しめる。



<作品>